

サンコーエンジニアリング株式会社の環境行動計画

1. 環境取組方針

環境基本理念

サンコーエンジニアリング株式会社は、「地域住民との心のふれ合い」を大切にして設備工事の事業活動を行ってまいりました。建設事業が地域環境に大きな影響を与えることを社員一人一人が十分に認識し、環境保全に努めることが住み良い社会を後世に伝えるための重要な課題であると考えます。ここに具体的行動指針を定め、全社一丸となって継続的に取り組み、事業を通して住み良い環境社会をつくることを会社の重要な経営方針とします。

環境行動指針

私たちは、自社の事業活動によって生じる環境負荷を極力最小限にとどめ、環境の向上を目指すため次のことに取り組んでまいります。

- ①事業活動中でのエネルギーの消費量削減
- ②事業活動中での水・紙の使用量の削減
- ③事業活動中での一般廃棄物・産業廃棄物排出量の削減
- ④地域の環境保全

この方針に沿って、具体的取組目標を設定し、全従業員が環境に対する高い意識をもって環境に配慮した行動ができるように周知徹底します。

平成 20年 5月 7日

サンコーエンジニアリング株式会社

代表取締役 米田 博

3. 環境負荷の低減目標と取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的項目を設定して取り組むこととします。

| | |
|---------------|---|
| <p>目標-1</p> | <p>二酸化炭素の総排出量を、19年6月期を基準として21年までに6%削減する。 目標 65,500(Kg-CO2)とする。</p> |
| <p>具体的な取組</p> | <p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事務所内の空調温度を適正(冷房時28℃、暖房時20℃)に設定する。 ②エアコンのフィルターは月1回の清掃を行う。 ③昼休みの消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する。 ④1時間以上、席を離れる場合はパソコンの電源を切る。 <p>(工事部門での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①車両の定期点検を行う。 ②相乗りなど適切な配車を徹底する。 ③無駄な荷物は積まず、軽量化に努める。 ④適正な空気圧を保ち、エコドライブを推進する。 |

H21 27.6 H22年度

| | |
|--------|---|
| 目標-2 | 水及び紙の売上高あたりの使用量を、19年6月期を基準として21年までに5%削減する。 目標(紙)0.84Kg/百万円、(水)0.73m ³ /百万円 |
| 具体的な取組 | <p>(水の使用量削減)</p> <p>①手洗い場の止水栓をしぼり、水栓から出る水量を減らす。 ②洗車時は水を流しっぱなしにして使用しないようにする。 ③トイレ等の流水時間を最少に調整して使用する。</p> <p>(紙の使用量削減)</p> <p>①社内資料は裏紙利用または両面コピーを徹底する。 ②印刷する前に必ずパソコン画面上で確認する。 ③印刷前のパソコン印刷設定を再確認する。</p> |
| 目標-3 | 一般廃棄物及び産業廃棄物の売上高あたりの排出量を、19年6月期を基準として21年までに5%削減する。 目標(一般廃棄物)1.71Kg/百万円、(産業廃棄物)30.4Kg/百万円 |
| 具体的な取組 | <p>(一般廃棄物の削減)</p> <p>①ゴミの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める。 ②排出量を毎日記入して表を掲示し、社員の意識を高める。 ③詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に購入する。</p> <p>(産業廃棄物の削減)</p> <p>①埋め立てゴミとリサイクル製品をできるだけ細かく分別する。 ②塩ビ製品のリサイクルを検討する。 ③リサイクルしやすい置場を検討し整理する。</p> |
| 目標-4 | 環境に配慮したOA機器、事務用品の使用と地域社会への貢献活動を推進する。 |
| 具体的な取組 | <p>(環境配慮)</p> <p>①社内で使用するOA機器・事務用品等はグリーン製品から選択・購入する。 ②騒音・振動防止法、産業廃棄物処理法、公害防止法等関連法規の遵守。</p> <p>(地域貢献)</p> <p>①会社敷地内及び周辺の美化運動に努める。 ②地域における環境保全活動に積極的に参加する。</p> |

4. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、業務部長(環境管理責任者)を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が意識をもって具体的な取組を実行します。